

パピーの時からフードでお世話になっているマリーちゃん。
マリーちゃんが暮らしている地域は、自然が沢山あってとっても静かな所！
とっても優しいご夫婦の愛情をたっぷり受けスクスクと育ってるよ。
シェルティは長毛種なので被毛の手入れはとっても難しい。
特に1歳から2歳にかけて一気に毛量も増えるし長さも伸びてくる🐾
換毛期になると抜ける毛も尋常じゃないからブラッシングは欠かせないね・・・
ブラッシングといえば！

我家の4男坊のヒットなんて！

オイラよりブラッシングしてもらえて羨ましい☺

オイラ猫だけどブラッシング大好きだから毎日一杯してもらいんだもん！！

だけどヒットばかりでさあー

腹が立つから店長が居ない時こっそりヒットにパンチしてやるんだー

……見つかったら怒られるけどね(；_；)

さて、マリーちゃんが1歳になったところかな？

お尻周辺とお腹の広い範囲に膿皮症という皮膚炎を発症したんだって。

飼主さんは膿皮症の事を知らなかったからもっと前からあったのかもかもしれない。

なぜ発見できたのかというとな、

マリーちゃんはずっと自宅でシャンプーしていたんだけど毛量も増え大変になってきた
ということで飼主さんがわざわざ1時間かけてHOPEまでシャンプーに来てくれて・・・

その時店長が膿皮症を見つけたらしい。

見つけた時は悪化していて手が付けられない状態だったらしい☹

さすがの店長も頭を抱えたけど何とかしなきゃと飼主さんに提案したらしい

①フードをサーモンからステアライズドに変更

②月1回の出張シャンプー(飼主さんが毎月は通えないので)

1年間コツコツ続けたところ、なんと！

今年の春完全に完治したんだって！！！！

スゴイ♪ やったー♪

店長の経験だけど、

膿皮症などの皮膚炎は早期に見つけ直ぐに退治しないと悪化して

お薬を飲み続けていかないといけなくなるケースが多いんだって。

(お薬を飲み続けていくと内臓に負担が掛かるのでできればお薬を使わずに何とかしたいよね。)

また、皮膚炎が何種類も重なるケースもあるとか？

重なった時は、見極めも難しいし薬と併用した時に薬の効き方に違いが出て回復までの時間がどんどん伸びてしまい飼主さんへの負担(治療費の出費と精神的な部分)が大きくなり最終的に治療を諦める事につながるケースが多いと言ってた。

そうならない為に、店長はシャンプーの時に入念に皮膚をチェックするそう。。。

早期発見して早期退治が目的だから鬼の目になるよ… 怖えー

あっ、店長が提案した①と②の他に③もあるんだけど店長曰く③が一番効果があったかも？

と言ってた。

マリーちゃんのように悩んでいる子は沢山いる。

店長は今後も悩んでいる子達の為に日々奮闘しているよ！

お勉強ガンバだよ店長☆彡

by 福助🐾